令和８年度　第８回

病院経営戦略会議報告

日　時　令和８年９月 15 日（火）　13 時 00 分～13 時 15 分
場　所　アッセンブリーホール
出席者　朝見院長、池田副院長、金子副院長、原看護部長、
西田保健衛生局理事、塚本病院経営部長、大久保病院総務課長、
澤田病院施設管理課長、臼井病院財務課長、片岡医事課長、
石井出情報管理室長、天野患者支援センター副所長
事務局　病院総務課　天本

内　容

◎石井出情報管理室長

【協議事項】

（広告付きデジタルサイネージ病院情報の出稿方法について）

・デジタルサイネージは 10 月１日から稼働開始。１階自動再来受付機前の壁面や自動精算機横壁面、５階新生児内科外来待合、NICU・GCU 面会待合などに設置される予定で、民間広告に加え、病院独自の情報を発信できる。
・広告と病院情報を 15 秒単位で繰り返し表示する仕組みとなっており、病院情報は１階と５階で異なる内容を流すことも可能。
・病院情報の掲載窓口は情報管理室が担当し、事業者との調整を行う。テキストのみの場合は定型テンプレートを用いて申請後約３週間で掲載できる。画像や動画を使用する場合は、各診療科・担当部署が作成したデータを提出し、情報管理室を通じて登録する。動画は無音とし、院内アナウンス等への支障を避ける方針。
・また、天気予報表示機能や、１階設置機器には地域の連携医療機関を検索できるタッチパネル機能も搭載される。
・デジタルサイネージ病院情報の出稿に関する運用について、御協議をお願いしたい。

→電源の管理はどのようになっているのか。（朝見院長）
→サイネージの電源は病院施設側から供給する。電気代については設置事業者が負担する。電源に関する窓口は病院施設管理課が担当する。（情報管理室

長）

→夜間や休日の電源の ON・OFF はどのように管理するのか。（朝見院長）

→リモートによる自動管理機能を備えている。基本的には事業者が遠隔で管理する。病院側が対応するのは、機器の不具合やハングアップ時など例外的な場合を想定している。（情報管理室長）

→病院が配信する情報について、掲載可否を判断する基準や条件は設けるのか。（看護部長）

→さいたま市の広告掲載基準やガイドラインに基づいて判断する。民間広告については、事業者側で基準に沿った審査を行ったうえで病院が最終確認する。病院が発信する情報についても情報管理室で内容を確認する。医療広告ガイドラインに抵触する内容や病院にふさわしくない内容は掲載を見合わせる。判断に迷う場合は事前に情報管理室へ相談してほしい。（情報管理室長）

→作成する側があらかじめ基準を理解していれば配慮して作成できるため、「こうした場合は掲載できない」という基準を示してほしい。（看護部長）

→今回の運用が了承された場合は、院内で閲覧できる場所に運用方法を掲載する。併せて、参考資料として市の広告掲載基準や関連ガイドラインも周知する。（情報管理室長）

→５階のサイネージでは治験に関する情報も流すのか。（朝見院長）

→その予定である。治験に関する案内に加え、現在実施している治験の情報を掲載する。また、新生児内科では治験に積極的に取り組んでいることを紹介し、関心のある方にはホームページ等を参照してもらう内容を検討している。そのほか、インフルエンザワクチン接種開始の案内なども掲載する予定である。（池田副院長）

→各診療科がホームページ上で紹介している診療内容などをサイネージで流すことは可能か。（金子副院長）

→基本的には可能である。まずは各部署からの掲載希望を受け付ける。希望が集中した場合は、表示枠の都合上、掲載時期を調整する可能性がある。現時点では特に制限を設ける予定はない。当初は手挙げ方式を想定しているため、結果として早い者勝ちになる面はある。一定期間で募集を区切るが、掲載希望を見落とさない仕組みも検討したい。（情報管理室長）

→本件については、説明のとおりとすることに決定する。（朝見院長）

◎天野患者支援センター副所長

【報告事項】

（地域連携訪問活動実績報告（８月分）について）

・８月は病診連携で３件、病病連携で１件、合計４件の地域連携訪問活動を実施

した。
・このうち１件については、放射線治療科の医師に同行していただいた。

◎原看護部長

（夜間看護補助者派遣事業について）

・８月から導入しているが、現在、一般病棟には 20 名から 21 名程度の派遣看護補助者が配置されており、主に 17 時から 23 時までの時間帯で勤務している。勤務日数は個人差があるものの、診療報酬算定要件を満たす体制を維持しながらシフト運用を行っている。
・効果としては、夜間帯の応援要請が大幅に減少している。これは、おむつ交換やナースコール対応の初動などを担うことで看護師の負担が軽減されていることによるものと思われる。
・時間外勤務削減など数値的な効果はまだ明確に現れていないが、現場の業務負担軽減には大きく寄与していることから、今後も研修や指導体制を整備しながら、継続的な活用を進めていく。

◎金子副院長

（休日の照明消灯について）

・先日の病棟・外来運営委員会において、２階外来フロアの休日の照明消灯について意見があった。
・日直勤務時に確認したところ、本来消灯されるはずの照明が点灯していたので、病院施設管理課において確認し、適切に対応していただきたい。

◎池田副院長

（インフルエンザワクチンについて）

・今年はインフルエンザ患者の増加が見込まれるため、ワクチンの早期納入を薬剤科に依頼していたところ、本日（9/15)、患者接種用のインフルエンザワクチンが納入される予定となった。
・明日（9/16）から新生児内科において、小児患者およびその保護者を対象としたインフルエンザワクチン接種を開始する。
・職員用のインフルエンザワクチンについては、シルバーウィーク明けに納入される見込みである。
・職員についてもできるだけ早期に接種を行うべきだが、接種会場やスケジュールの調整が必要であり、円滑な実施に向けて準備を進めている。
・特に小児科医師や看護師など、インフルエンザ患者との接触機会が多い職員については優先的に接種を進めたい。

以上